第23回栃木県障害者技能競技大会 ビルクリーニング 競技課題

◎ 一般的な注意事項

【共通事項】

課題の時間が定められております。

- (1)課題: 10分で打ち切り
- (2) 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- (3) 競技は、作業準備、作業動作(手順)、仕様誤り、作業態度、作業時間の5面から審査します。
- (4) 作業に適した服装をして下さい。
- (5) 作業開始の指示は、競技委員が行います、「始めます」「終わりました」の申告は、競技者自身で行うこと。
- (6) 各作業は、使用した資機材を手入れした後、指定された場所へかたづけて完了とします。
- ◎ 課題:弾性床清掃及び机上清掃
- (1) 作業面は、16 m² (4 m×4 m) の広さです。
- (2) 床面の掃き・拭き作業及びゴミ処理・机上拭きの作業です。
- (3) 作業に使用する資機材・消耗品は、作業用カート(台車)に乗せてある物を点検してください。
- (4) モップの柄は、長さが調整できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調整してください。
- (5) ダスタークロスは、競技者が作業前に取り付けて点検してください。
- (6) 床のゴミは、「おがくず」とし50ml 程度をまいたものとします。
- (7) 幅木の上には、壁があるものとして作業を行ってください。
- (8) 作業場所にある机は、移動させないでください。
- (9) 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

【資機材一覧】

1. 競技者が持参するもの

品	名	寸法又は規格	数量	備考
作業着(上・	下)		1 着	
作業帽又はバ	イザー		1個	
作業靴			1足	ヒールマークが付着しないもの
タオル		無地・白色・木綿製	2枚	

注意) 持参するものは上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは 差し支えない。

2. 競技会場に準備されているもの

品 名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1	
作業標示板		1	
モップ柄	ワンタッチアルミハンドル	1	
モップ房糸	260g	1	
小型ぼうき	30cm幅用	1	
乾式モップヘッド	6 3 c m	1	
文化ちり取り		1	
ダスタークロス	69cm幅用の不織布	1	
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1	
タオル	無地水拭き用(青色)1枚無地から拭き用(白色)1枚	2	
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1	
イス	パイプ式折りたたみ	1	
ゴミ箱	角型	1	

課題:弾性床清掃及び机上清掃(作業時間:10分)

作業仕様(1)

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	 ・作業に必要な資機材(タオル・モップ等)は、すでに作業カート(以下カート)上部に準備されている。 ①ワンタッチモップ柄(以下柄)の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッド(以下ヘッド)に装着し、カート上部に置く。 	・必要な資機材及び数量は、 資機材一覧を参照すること。 ・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「はじめます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手を挙げ、一礼する。	作業開始を申告する。
作業準備	カートを保管場所から作 業場所の近くへ移動し、作 業標示板を立てる。		
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって 入室の挨拶を行う。	「失礼します」と一礼して入 室する。	

	T		
	①作業前にイスを机上に		
	上げる		
	②ゴミ箱にセットされて		
イス上げとゴミ	いるビニール袋を回収	・机は動かさない。	
処理	する。	イスは机からはみ出さない	
(1) イスを上げ	③回収したビニール袋を	ように正しくのせる。	
る	カートの袋の中に入れ	・ビニール袋を正しくセット	
(2)ゴミの回収	る。	する。	
(3)ゴミ袋のセ	④ビニール袋の替袋を取	ゴミ箱は机からはみ出さな	
ット	り出し、ゴミ箱にセット	いように正しくのせる。	
	する。		
	⑤ゴミ箱を机上に上げる。		

- ①ダスタークロスを装着 した乾式モップヘッド は入口の養生マットの 上でモップの柄に取り 付ける。
- ②乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。
- ③室内での作業手順は、乾 式モップ作業手順のと おり行う。
- ④ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所に集める。
- ⑤ヘッドを柄から外す。
- ⑥使用済みのダスタークロスをヘッドから外し、カートの袋の中に収納する。
- ⑦柄とヘッドをカートに 戻す。
- ⑧小型ぼうきと文化ちり 取りを使用し、集めたゴ ミを回収する。
- ⑨ゴミの取り残しがない か点検する。
- ⑩小型ぼうき、文化ちり取りをカートに戻す。

- ・柄の先端には親指を添える。
- ・ヘッドの辺は広い方を先行 させる。
- 入口のゴミを踏まないように足場を確保する。
- ヘッドは床から離さない。
- 使用済みダスタークロスは カートの袋の中に入れる。
- ・ゴミの取り残しがある場合 は、小型ぼうきと文化ちり 取りを使用し回収する。
- ・ヘッドは、カート上部にスポンジ面を上にして邪魔にならないように置く。

ゴミは、おがく ずを 50 ml程度 均等にまいて ある。

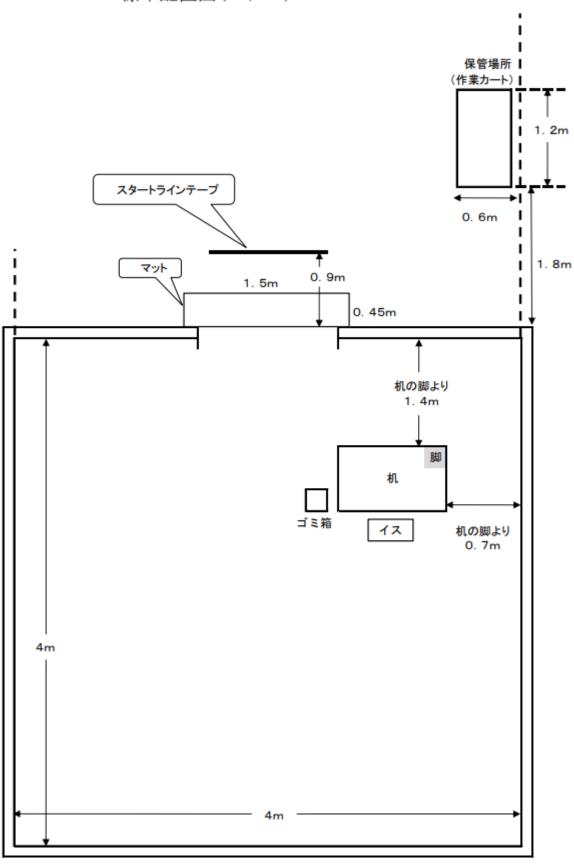
点検の際に声を出さないこと。

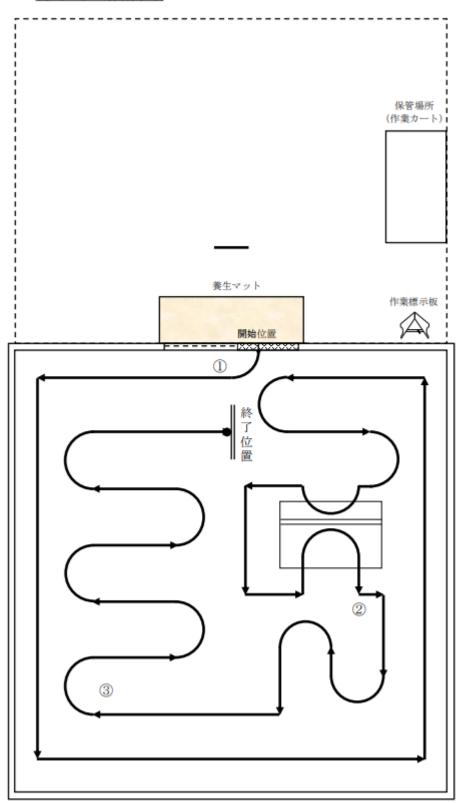
除塵作業

(乾式モップ)

作業仕様 (2)

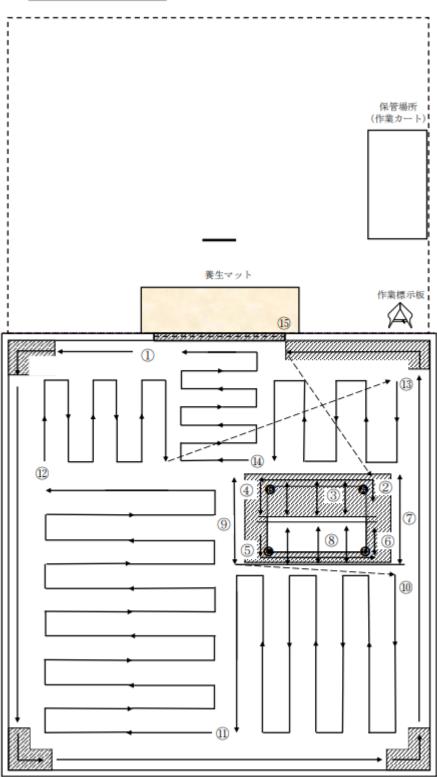
作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭き作業(モップ)	①コート全体を拭く。 ②室内での作業手順は、水 拭きモップ作業手順の とおり行う。 ③コーナー周りと机の足 元は房糸に手を添えて 拭く。 ④モップは適宜裏返し、モ ップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後 退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。・柄の先端には親指を添える。・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。・拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイス下 ろし	安全に音を立てないように下ろす。	・足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①青色のタオルを八折にして持つ。②机の上を青色のタオルで水拭きした後に、白色のタオルでから拭きを行う。	・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。・横拭き、縦拭きを行う。	
点検	指差し又は目視点検を行 う。	・資機材の忘れ、ゴミの取 り残しなどの点検を行 う。	点検の際に声を出 さないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって 退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼し て退室する。	
資機材の片付け	作業標示板をカートに収 納し、カートを保管場所に 戻す。		
終了の挨拶	所定の位置に立ち、終了の 挨拶を行う。	「終わりました」等の意思 表示を行う。	作業終了を申告する。





注:乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

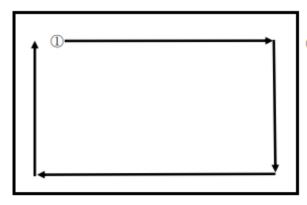
水拭きモップ作業手順



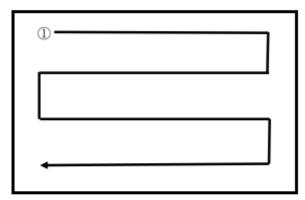
- 注: //// 印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

 - ①幅木側を1周すること。 (コーナーは手を添えます)
 ②Aの足回りを手を添えて拭く
 ③机の下を手を添えて拭く
 ③へ⑥B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く
 ⑦机の脇(壁側)を拭く
 ⑧机の下を手を添えずに拭く
 ⑨机の脇(入口側)を拭く
 ⑩へ⑭スパンを決めて拭く
 ⑤入口を手を添えて拭く

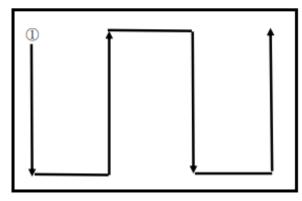
机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き:拭いていない中面を左右に拭きます。 (このとき、拭きムラの無いように注意します。 また、左右の動きにより、往復の回数が異なり ます。)



③縦拭き:拭き残しがないように中面を上下に 拭きます。 (このとき、拭きムラの無いように 注意します。また、上下の動きにより往復回数 は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注:作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で 持つ人の場合は、左右を逆として構いません。